## 原単位の改善のための取組に関する状況 【2025年度提出分(2024年度実績)】※非特定事業者用 公益財団法人 愛知水と緑の公社 銘柄コード 法人番号 1180005004746 【取組の概要: 業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】 エネルギー総使用量 日本標準産業分類 コード 項目名 1,395,989 G.I 36 017 kℓ 前年度エネルギー 26 水道業 中分類 L0 総使用量 非化石エネルギー 3631 下水道処理施設維持管理業 GJ (申請事業) 総使用量 【役職】 調整後温室効果ガス エネルギー管理統括者 t-CO2 【氏名】 排出量 【エネルギーの使用の合理化】 【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量等の量】 【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】 原単位分母 主たる事業における 1. エネルギーの使用の合理化に関する事項 エネルギー消費原単位\*\*注 主たる事業 ①省エネ・高効率機器への更新 (2024年度実績) t-C02 の構成割合 省エネ・高効率機器への更新を進めることで、電力使用量を削減する。 2022 ②焼却施設の高度化 2020 2021 2023 2024 t-C02 事業者全体の 年度 年度 年度 年度 在庶 温室効果の高い一酸化二窒素の排出量を削減するため、排出抑制型の焼却炉を導入する。 エネルギー消費原単位 また、焼却廃熱を有効利用することにより、外部からの電力や重油等の燃料を削減する焼却炉を導入する。 対前年度比 t-C02 事業者全体の ポンプのインバータ制御、運転方法の工夫など省エネ稼働を図る。 t-C02 5年度間平均原単位変化(%) ※ 主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業 分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。 2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項 |太陽光発電設備及び蓄電池設備などの導入を検討し、創エネ・蓄エネの取組を推進する。 【電気の需要の最適化】 【非化石エネルギーへの転換】 原単位分母 主たる事業における 電気の非化石比率 事業者全体で使用する電気 雷気需要最適化評価原単位 (2024年度実績) 目標(2030年度) 20.9% DR実施日数 2020 2021 2022 2023 2024 2023 年度 年度 年度 年度 年度 2021 2022 2024 事業考全体の 直近5年度間の実績値 年度 年度 年度 年度 年度 電気需要最適化評価原単位 17.4% 16.5% 対前年度比 目安設定業種 事業者全体の 5年度間平均原単位変化 【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】 1. 自由記述欄(カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について) 【ベンチマーク指標の状況(合理化)】 目安(2030年度) ベンチマーク区分 日指すべき水準 目標(2030年度) ベンチマーク指標の状況 2020 2021 2022 2023 2024 年度 年度 年度 年度 年度 ベンチマーク区分 直近5年度間の実績値 2. 関連リンク 目指すべき水準 目安設定業種 ベンチマーク指標の状況 ベンチマーク区分 目安(2030年度) 目指すべき水準 ベンチマーク指標の状況 目標(2030年度) ベンチマーク区分 2020 2021 2022 2023 2024 年度 年度 年度 年度 年度 (注意事項) 日指すべき水準 直近5年度間の実績値 赤枠囲み欄は必須記載です。 ・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、 ベンチマーク指標の状況 情報の公表を継続する必要があります。